

## 実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
西海市	旧西彼町地区(大串小集落)	令和4年3月25日	

### 1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	195 ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	100 ha
③地区内における70才以上の農業者の耕作面積の合計	44 ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	19 ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	21 ha
④地区内において今後中心経営体を引き受ける意向のある耕作面積の合計	5 ha
(備考)	

### 2 対象地区の課題

大串小集落は施設野菜(いちご)や水稻や果樹など多様な作目が作られており、川に沿った平地の地形で条件の良い農地では耕作が継続されているが約45%は既に荒廃化しており、担い手不足による農地維持は喫緊の課題である。
--

### 3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

水稻地帯においては、移住者や新規就農者で水稻を拡大希望する農業者へ集積したり、施設野菜(いちご)についても新規就農者向けの作目であることから、後継者が定まっていない農家について、農地中間管理機構などに情報提供し、新たな就農者への貸付により荒廃化を防ぐ。
--

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針(任意記載事項)

○農地中間管理機構の活用方針

将来の経営農地の集約化を目指し、農地所有者は、出し手・受け手にかかわらず、原則として、農地を機構に貸し付けていく。

中心経営体が病気や怪我等の事情で営農の継続が困難になった場合には、農地バンクの機能を活用し、農地の一時保全管理や新たな受け手への付け替えを進めることができるよう、機構を通じて中心経営体への貸付けを進めていく。

○鳥獣被害防止対策の取組方針

地域による鳥獣害対策の集落点検マップ(侵入防止柵や檻の設置状況、放置果樹や目撃・被害発生場所等)づくりや捕獲体制の構築等に取り組む。

(参考) 中心経営体

属性	農業者 (氏名・名称)	現状		今後の農地の引受けの意向		
		経営作目	経営面積	経営作目	経営面積	農業を営む範囲
計	10 人		9.23 ha		13.47 ha	